

令和4年度 企画展のご案内

企
画
展

大解剖!副読本『わたしたちの広島』 —くらしのうつりかわりを学ぼう—

令和4年4月16日(土)～7月3日(日)



広島デルタの妖精
でるたこ(初代)

昭和32年(1957)より、広島市の小学校3・4年生が学び受け継がれてきた社会科副読本。本展では現在の副読本に取り上げられている、広島市の様子と人々のくらしのうつりかわりについて、郷土資料館独自の切り口で小学生向けに紹介します。



現在の広島デルタのようす(平成30年度)
写真提供 広島市

夏休み おばけの博物館

令和4年7月16日(土)～8月21日(日)

昔の人々も楽しんだ夏の風物詩・おばけ屋敷はどこなところ?おばけを生み出した人々のくらしや思いも知って、ひと味違う夏休みを体験しましょう。



五日市(佐伯区)の雷獣

『ごんぎつね』が語る昔のくらし

令和4年9月3日(土)～11月27日(日)

新美南吉の童話『ごんぎつね』のストーリーを交えながら、童話に登場する昔の道具や人々のくらしを紹介します。



栗を運ぶごんぎつね

実は広島

令和4年12月10日(土)～令和5年2月26日(日)

全国的に知られた企業や製品の中には広島発祥であったり、広島で相当のシェアをもって生産されていたりするものが少なくありませんが、意外と知られていないものも多々あります。こうした事例やこれらが生み出されてきた時代背景などを紹介します。



かつて全国随一の生産量を持った
海苔養殖(南区) 写真提供 大下隆雄氏

広島近代化を担った建物たち —建造物からたどる広島の歴史—

令和5年3月11日(土)～5月7日(日)

当館の前身である旧宇品陸軍糧秣支廠をはじめ、広島市とその周辺地域に残る明治～戦前の建造物とそれらが担った役割にスポットをあて、広島の近代化の歴史やその背景を紹介します。



絵葉書「宇品陸軍糧秣支廠 砲倉
(大正五年四月)」当館蔵



広島市郷土資料館

HIROSHIMA CITY MUSEUM OF HISTORY AND TRADITIONAL CRAFTS

〒734-0015 広島市南区宇品御幸二丁目6-20

TEL(082)253-6771 FAX(082)253-6772

ホームページ <http://www.cf.city.hiroshima.jp/kyodo/>

開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料：大人/100円(団体80円)

：高校生^{◆1}・シニア^{◆2} / 50円(団体30円)

：中学生以下無料

◆1 高校生、および15歳に達する日の翌日から18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある人

◆2 65歳以上(年齢を確認できる公的証明書をご提示ください。) ※団体は30名以上

交通
案内

電 車：広島電鉄 広島港(宇品)行「宇品二丁目」下車 300m

バ ス：広島バス ベイシティ宇品経由広島港行「ベイシティ宇品」下車 600m

※郷土資料館への来館は、できるだけ公共交通機関をご利用ください。 ※近隣商業施設への駐車はご遠慮ください。